

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●オークスはスターズオンアースが優勝し牝馬二冠を達成

5月22日(日)に行われた優駿牝馬(オークス)(G1)では桜花賞馬スターズオンアース(牝3歳/美浦・高柳瑞樹厩舎)が優勝、GI連覇を果たしました。桜花賞・オークスの牝馬クラシック二冠達成は、2020年デアリングタクト以来2年ぶり、史上16頭目のこととなります。

●池添謙一騎手がJRA通算1万4000回騎乗を達成

5月21日(土)の2回東京9日・第7レースでリュクスフレンドに騎乗した池添謙一騎手(栗東・フリー)は、この騎乗で史上19人目、現役では14人目となるJRA通算1万4000回騎乗を達成しました。

●川須栄彦騎手がJRA通算400勝を達成

5月21日(土)の1回新潟5日・第10レースとして行われた栃尾特別ではウルトラソニックが1着となり、同馬に騎乗した川須栄彦騎手(栗東・フリー)は、現役42人目となるJRA通算400勝(6336戦目)を達成しました。

●松若風馬騎手がJRA通算400勝を達成

5月22日(日)の3回中京6日・第11レースとして行われた大垣Sではイバルが1着となり、同馬に騎乗した松若風馬騎手(栗東・フリー)は、現役43人目となるJRA通算400勝(5858戦目)を達成しました。

●ロンジンワールドベストレースホースランキング発表

IFHA(国際競馬統括機関連盟)から恒例の「ロンジンワールドベストレースホースランキング」が発表されました(単位はポンド)。今回の発表は2022年1月1日から5月8日までに実施された世界の主要レースが対象。日本調教馬は、天皇賞(春)圧勝のタイトルホルダーが第5位タイ(121)、ドバイシーマクラシックを勝ったシャフリヤールが第10位タイ(120)、皐月賞を制したジオグリフが第15位タイ(119)にランクインしています。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●グラーツィアが留守杯日高賞(水沢)を圧勝【各地の主要3歳重賞】

留守杯日高賞(5月15日、水沢、1600m、牝馬)は、3番手追走から3、4コーナー中間で抜け出した船橋からの遠征馬グラーツィア(父ホッコータルマエ)が後続を10馬身引き離し、単勝1.5倍の支持に応じて3度目の牝馬限定重賞勝ちを果たしました。のじぎく賞(5月12日、園田、1700m、牝馬)は、2番手から2周目3コーナー過ぎに先頭に立った4番人気のニネンビーグミ(父ホッコータルマエ)がそのまま押し切り、兵庫クイーンセレクションに次ぐ重賞制覇。北日本新聞杯(5月24日、金沢、1700m)は、逃げた単勝1.7倍で1番人気のスーパーバンタム(牝、父アポロソニック)が4馬身差で楽勝、ノトキリシマ賞に続く重賞2連勝を達成しています。

●ヘリオス、シャマルらが参戦、6月1日のさきたま杯(浦和)

さきたま杯(JpnII、6月1日、浦和、1400m)は、重賞で3戦連続2着のヘリオスが中心、以下前走の東京スプリントを制したシャマル、JpnIII 2連勝中のイグナイター(兵庫)、サクセスエナジー、エアスピネルの順に有力視されます。

●6月2日の北海道スプリントCにダンシングプリンスが登場

北海道スプリントC(JpnIII、6月2日、門別、1200m)は、サウジアラビアのリヤドダートスプリントを圧勝したダンシングプリンスが最有力、前年2着のリウノユキナが続き、スマートダンディー、昨年の覇者ヒロシゲゴールドまでが争覇圏内と考えられます。

※最新の開催情報は各主催者のホームページ等でご確認ください。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

●G1愛2000ギニー〜イギリスのネイティヴトレイルが快勝

現地時間5月21日にアイルランドのカラ競馬場で行われたG1愛2000ギニー(3歳牡・牝、芝1600m)はW.ビューック騎手を背に中団でレースを進めたイギリス調教馬ネイティヴトレイル(牡3歳、父オアシスドリーム)が単勝1.4倍の圧倒的な1番人気に応じて、1馬身3/4差で優勝しました。ネイティヴトレイルは昨年の欧州最優秀2歳牡馬。今年はG3クレイヴンS(芝1600m)を制した後、前走のG1英2000ギニーは2着でした。馬主のゴドルフィンとC.アップルビー調教師は3頭の異なる馬で同一年のG1英2000ギニー(勝ち馬コロエバス)、G1仏2000ギニー(同モダンゲームズ)、そしてG1愛2000ギニーを制するという史上初の快挙を成し遂げました。

●G1ブリークネスS〜アーリーヴォーティングが制す

米三冠の2戦目にあたるG1ブリークネスS(3歳、ダート1900m)が5月21日に米国メリーランド州のピムリコ競馬場で行われ、道中2番手追走から最終コーナーで先頭に立ったアーリーヴォーティング(牡3歳、父ガンランナー)がG1ケンタッキーダービー2着のエピセンターに1馬身1/4差をつけて優勝しました。アーリーヴォーティングは今年2月のG3ウィザーズS(ダート1800m)で重賞初制覇。続く4月のG2ウッドメモリアルSでも2着に入りましたが、ケンタッキーダービーは回避していました。鞍上のJ.オルティス騎手はこのレース初制覇。管理するC.ブラウン調教師は2017年のクラウドコンピューティング以来となる2勝目です。